

卒業、おめでとう！

2023年3月8日、保護者の方々も同席されて体育館にて第75回卒業式が行われ、早春の晴天のもと、3年1組から7組まで260名の卒業生が鷺高から旅立ちました。式は、午前10時の卒業生入場から始まり、開式の辞、国歌斉唱、卒業証書授与、校長式辞と続きました。



卒業生の入場待ち



卒業証書授与

卒業証書授与は、各組の代表者がその組の卒業生全員分の証書を校長先生から受け取る形で行われ、校長先生からは、東畑開人氏（臨床心理学者）の著書『聞く技術 聞いてもらう技術』を引用して、困難にあっても他者とつながることと聞くことを大切にしてほしい、との式辞が送られました。



同窓会(紫明会)の会長祝辞



来賓で出席した紫明会の柏木会長からは、己を知って自己肯定感を持つことで、失敗も一つの経験として次につなげられる人になり、他者にも寛容になれること、自分と他者を認めてポジティブシンキングで歩いて欲しいとの祝辞が送られました。

その後、卒業生代表(生徒会長)からは、入学年からの新型コロナ感染によって余りにも制限が多く、妥協と向き合った苦難の三年間であったが、その中でも新しい生

活の有り方を自発的に考えるという経験ができたこと、色々と悔いの残る高校生活ではあったが、それでも後悔はなかった、と力強く心打たれる答辞がありました。答辞を聞いて涙ぐむ保護者の方もおりました。その後の校歌斉唱(傾聴のみ)を以って卒業式は閉会しましたが、卒業生達は、1組から7組の順に各組の卒業生が保護者席に向かって整列し、代表者が感謝の挨拶をしてから退場していきました。

ところで、卒業式の前日の3月7日、卒業式の予行がありました。校長先生のご厚意により、その場で紫明会をアピールする機会を頂きました。予行の最後に、ハッピーを羽織り、ノボりを掲げた役員達が登壇し、柏木会長から卒業生達に向けて紫明会への参加をお願いしました。卒業生達には、紫明会への入会案内書、紫明会リーフレット等を配布しました。



なお、校内緑化支援で作業した正門横の花壇では、樹名板の下のスイセンや、昨年12月に役員と同窓生有志で植えたチューリップが綺麗に咲き始め、昨年11月に寄贈した記念植樹のシモクレンもつぼみを付けていました。



2023年3月20日 撮影